

新しい力で 山形の創生を!!

山形市議会議員

松田たかお通信

発行 山形市議会議員 松田 孝男 山形市松見町18-5 TEL・FAX 023-641-4016

Volume

04
2016. 夏



(3月定例会での一般質問)

この一年に感謝！ 新年度、決意も新たに！

皆様の真心からのご支援を頂戴し、初当選より早いもので一年が経過いたしました。日々、常に戦場の想いで挑戦をさせて頂き、充実した日々を過ごすことができました。皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。さて、佐藤新市長が就任されて初となる3月定例会で新年度予算審議が行われましたが、佐藤市長が掲げる「健康医療先進都市」人口30万人を目指して、将来へ向けての積極的な予算編成でした。これからも市民の皆様のご期待に必ずやお応えすべく、責任感とスピード感を持って取り組んで参ります。そして本年は「東日本大震災」の発生から丸5年となります。改めまして、犠牲になられました全ての方々のご冥福と一刻も早い復興を心よりお祈りいたします。私も東北人として、「風化」と「風評」の二つの風との戦いが続いていることを忘れず、最後のひとりが「心の復興」を遂げるその日まで挑戦を続けて参ります。嬉しいことに、本年3月、愛する東北と北海道が新幹線で結ばれました。今後、佐藤市長の生れ故郷である北海道と、もうひとつ故郷である山形の友好交流なども期待をするところです。本市の益々の発展と興隆、市民の皆様のご健康とご多幸を心より祈念して挨拶といたします。

要望活動・街頭での市政報告・現場踏査など



東北森林管理局にて



成人の日 記念の街頭演説（市内）



水道連絡管視察（市内）

《一般質問要旨》

1 避難所整備

Q 災害時の避難所となる学校体育館に多目的トイレを設置してはどうか。

A 既存の体育館に整備するのは難しい。改築や大規模改修時に整備していきたい。

2 まるごとマラソン

Q 大好評のまるごとマラソンについて、今後の大会運営をどのように考えているか。

A ランナーから高い評価をいただいている。全国的に見てもモデルケースとなり得るような大会運営に努めていきたい。

Q 参加者も応援者も喜ぶ山形ならではの参加賞を検討してはどうか。

A 魅力向上につながるが、限られた経費で安全な大会運営をしていくことも必要である。大会運営全体の中で検討していく。

Q 馬見ヶ崎河川敷に日ごろから利用できるジョギングコースを整備してはどうか。

A 再整備計画を策定していく予定であり、その中で検討していく。

Q 健康医療トップランナーとして市長もまるごとマラソンに参加してはどうか。

A いろいろな方から言われている。何キロになるか分からないが検討する。

3 学校環境の改善

Q 太陽光を効率よく室内に取り入れができる採光フィルムを学校などに取り入れてはどうか。まずは建設予定のコミセンに導入してはどうか。

A 先進導入事例を検証し費用対効果等について研究する。

Q 学校へのエアコン整備は一律同等ではなく、悪条件の音楽室や特殊教室など現状や環境を考慮して整備すべきではないか。

A 特殊な事情としては、幹線道路からの騒音対策、プレハブの暑さ対策、近接住宅への音漏れ対策としてエアコン設置をしている。今後も特殊事情に配慮しながら、計画に基づいて整備を進めていく。

Q 学校で高額な楽器の購入が必要な際は、購入費の上限を見直し、保護者負担や高額なレンタル料がかからないような制度を検討してはどうか。

A 校長会の意見や要望を踏まえ、配当方法等を検討していく。

4 結婚・子育て支援

Q お祝いの気持ちを伝えるためのオリジナルの婚姻届と、撮影スポットの設置について聞きたい。

A 職員提案の取り組みで実施できるものから実施する。

Q 手厚い子育て支援の一環として、子育て祝い金を支給してはどうか。

A これまでも児童遊戯施設の整備、こども医療の無料化などに実施している。子育て支援策の更なる充実を図る

ため、どのような経済的支援が必要か、政策としてより効果的なものは何かを考慮に入れて検討する。

Q 出産支援と商業振興にもつながる仮称子育てギフト券を配布してはどうか。

A さまざまな創意工夫の中で山形市の子育て重視の姿勢を見せることが大事だと思っているので、指摘のことも含めて検討したい。

Q 整備検討中の市南部への屋内型児童遊戯施設には、民間や大学との連携など他市のよい事例を取り入れてほしいがどうか。

A 平成28年度に基本構想をまとめ、早期建設を目指す。民間と連携した施設の整備運営に関する十分な情報収集を行いながら創意工夫を図っていく。

5 観光振興

Q 本市の玄関口である山形駅自由通路や観光案内所に、観光スポットを紹介するデジタルサイネージを設置してはどうか。

A 観光協会が中心となり「やまがた舞子ナビ」を市中心部5箇所に設置し、一定の効果があったと認識している。今後ともさまざまな情報ツールの更なる活用について検討する。

Q 無料wifiの設置やsimカード・モバイルwifiルーターの貸し出しを推進し、観光客や若者が集まる中心地を目指してはどうか。

A 来年度より県インバウンド誘客推進計画に基づき、民間企業等が中心となりご当地 wifi エリア整備事業が開始される予定である。

Q 爆買いが期待できる中国人観光客が利用できる銀聯カードを取り扱えるATM設置を進めてはどうか。

A コンビニ事業者へ働きかけを行うほか、蔵王温泉観光協会等と設置に向けた検討を進めていく。

Q 山形観光のスペシャルコーディネーターを育成するため山商に「観光デザインコース」を新設してはどうか。

A 校舎改築にあわせ今後の教育内容の検討を重ねており、コースや学科設置の可能性について、経済界や観光関係者等のニーズを探りながら検討したい。

Q 全国に誇る本市の農産物でスイーツコンテストを開催し、街の活性化を図ってはどうか。

A 日本一さくらんぼ祭りにおいて、毎年「やまがた土産高校生さくらんぼスイーツコンテスト」を実施している。このようなイベントを通して発信を行いながら、観光誘客につながるよう取り組んでいく。

6 市立図書館

Q 市立図書館に歴史的音源視聴サービスを導入し、歴史文化を学ぶとともに後世に伝えていくってはどうか。

A 県立図書館や他の図書館の運用状況を見ながら、今後検討していく。

Q 休館日変更や年中無休のニーズはないのか。

A 11~12月に行ったアンケートの結果では開館時間の拡大等についてのニーズはそう高くはないものと捉えているが、今後とも市民が利用しやすい図書館運営に努めていく。